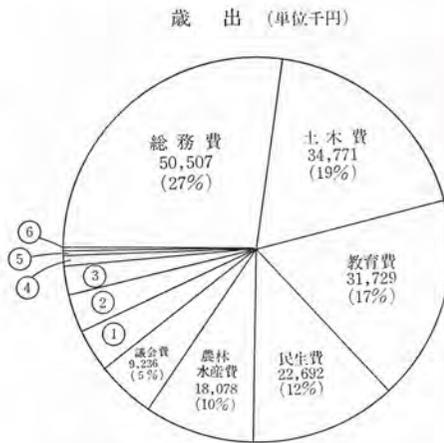
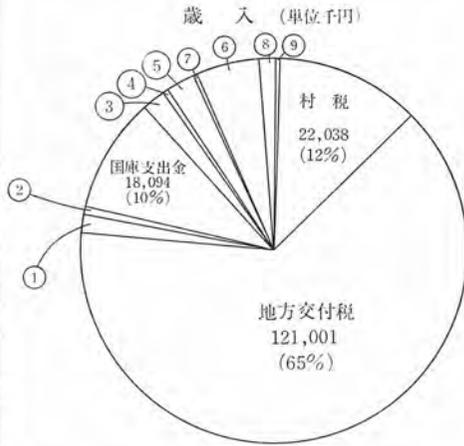


昭和46年度一般会計歳入歳出予算



- ① 分担金及び負担金 2,854 (2%)
- ② 使用料及び手数料 825 (0%)
- ③ 県支出金 3,603 (2%)
- ④ 寄附金 1,100 (1%)
- ⑤ 繰越金 5,000 (3%)
- ⑥ 村債 9,700 (5%)
- ⑦ 諸収入 343 (0%)
- ⑧ 自動車取得税交付金 2,500 (1%)
- ⑨ 財産収入 7 (0%)

- ① 消費費 6,375 (3%)
- ② 防債費 6,366 (3%)
- ③ 衛生費 4,627 (3%)
- ④ 予備費 1,459 (1%)
- ⑤ 商工費 947 (1%)
- ⑥ 労働費 278 (0%)



蓬田村公民館報
 【蓬 門】第79号
 発行所
 青森県東津軽郡
 蓬田村公民館
 印刷所
 第一印刷

〈世帯と人口〉

世帯数 1,005
 人口 { 男 2,517
 女 2,660
 計 5,177
 (46.2.28現在)

昭和四十六年度蓬田村社会教育事業計画

社会体育関係事業計画

事業名	期日	場所
村民体育大会	七月下旬	高根小学校
村民野球大会	六月、一月	中央公民館
子ども会世話人研修会	四月、三月	〃
婦人学級	年二回	各部巡回、学校
よい映画を見る会	未定	未定
三世代婦人交歓会	未定	中央公民館
青年リーダー研修会	七月	無線中継所
野外活動講習会	九月	大倉岳
村民一日登山	四月、三月	学校、部落公民館
家庭教育学級(七学級)	四月、三月	中央公民館
青年学級(一学級)	八月十五日	玉松公民館
成人式	適時	中央公民館
講座	五月	蓬田小学校
スポーツ教室	年十二回	
蓬田発行	年四回	役場
社会教育委員会	年四回	役場
公民館運営審議委員会	年四回	
村民体育大会	八月、一月	蓬中グラウンド
村民野球大会	六月、一月	〃
子ども会対抗野球大会	九月	蓬中グラウンド
県民体育大会参加		蓬中グラウンド
県青年大会参加		蓬中グラウンド
農民大会の普及		蓬中グラウンド
体力テストの実施		蓬中グラウンド
体育指導委員会		蓬中グラウンド

「蓬門」原稿募集
 「蓬門」の原稿を募集いたします。
 どんな事でもよいです。原稿を送って
 下さい。
 原稿送付先
 蓬田村教育委員会

「青年の船」報告 (三)

藤 田 修 一

赤道祭 (二月十八日) 天候晴

今朝四時二十分赤道を通過、それで今日は赤道祭を行いました。赤道祭というのは赤道の無事通過を海の神「竜王」にお願いする為いろいろな出し物をして竜王に見せるといったものです。「竜王劇」各出し物(スタンツ)討論会、ドイツキデナー、盆踊り大会等を行ない一日中楽しみました。私達第三組がスタンツの部で第一位になりました。

インドネシアでの活動

第一日目 (二月十九日)

ジャカルタのタンジョブリオーク港に七時すぎ入港、午前中は換金、入国手続等があり十一時埠頭ビルで歓迎式が行なわれました。そして船にもどって昼食後現地青年との交歓会、彼等はみんな学生で「日本文化短期大学」「外国語大学、日本語学科」の人達なので少

しは日本語が話せるので楽に交歓できました。ジャカルタ(インドネシア)は盗難が多いということ

で、船は厳重に警備し部屋のドアも閉鎖してしまいます。夜はカルチカチャンドラ劇場という所で「バリ島の舞り」「ガメラ音楽」を観ました。「バリ島の舞り」はみんな写真等で知っていることと思います。最後にアンクルソンという竹楽器の演奏があり一人が日本語で「かわいあいあの娘」「さくらさくら」を唄ってくれました。

第二日目 (二月二十日)

市内一般視察とショッピング

朝五時三十分起床、そして国会議事堂を見学、議事堂は一九六八年に完成したものだそうで近代的な明るい建物です。完成したといっても両側の附属した建物はまだ工事中でした。ズナンメインスタジアム独立記念塔、中央博物館等を視察した後ショッピング。私達

の行ったパッサルバム街という所は非常に高い所です。それでも現地政府が指定したそうで、そこで買物しました。みやげは「サラサ」「黒たん、紫たんのほりも」等がありました。

バスの窓から見た風景はフィリピンより道路、民家等も立派で田んぼは田植えをしている姿が見えました。現在は雨期ということですが、夜は船内でカタテルパーティーが行なわれました。

第三日目 (二十一日)

ジャカルタ市内視察

五時起床、インドネシアは朝早く、夜遅く昼寝をするといった暑さをさげる生活だそうで、私達の日程もそれと合せて作ってあるので起床が早い。

六時四十分バスで出発ポゴール市に向う、八時三十分ポゴール市に到着して、ポゴール植物園視察、ポゴール市は北ジャワにあつて、新興都市だそうです。植物園は熱帯植物の中心地だそうで、いろいろの珍しい花や木があります。現在は花の咲く季節ではないそうですが、私達にとっては非常に美

しい、珍しいものといえ、ここにいるコモリは日本のカラスよりも大きくて、それが空中を飛んでいる姿は気持ち悪いほどのものです。二時間ほど園内を歩いて昼食をとり、ブンチャク峠という所に行きました。峠は避暑地だそうで、標高二千メートルの所にあります。涼しい所だそうですが私達にとっては、非常に暑い所です。帰りに日本大使館邸でレセプション(夕食会)があり、この日も大いに飲んで食べて、大満足で帰りました。

第四日目 (二十二日)

(五月号へつづく)

五月号予告
報告第四便

私は教育文化コースを選び、テレビ局、インドネシア大学教員養成大学に行きました。TV局は(経済) (政治)

苦情をなくして

明るい村を作りましょう

苦情相談委員 吉 崎 慶 次 郎

常日頃かかいてえる道路測溝河川出稼賃金の不払等なんでも村行政問題を除き国の行政にかかわる苦情相談に応じますので電話(八二五七)でも結構ですから気軽に申出下さい。

蓬田村営農大

盛大の内に閉講

蓬田村役場、蓬田村農協共催第二回蓬田村営農大が去る三月一日より四日まで四日間、蓬田村役場会議室に於て開講致しました。

開講に先立ち、主催者側代表蓬田村長坂本大博の開講の挨拶がありました。挨拶の後第一日目最初の講義農協組合長小野清七により幕が上りました。今年は去年に引き続き米生産調整もあって受講者が多く、特に女性の受講者が目立っております。

講義内容は水田、転作、畑作、気象、一般農業と範囲は広いが、それでも受講生は熱心に講義を受けております。四日間の延べ受講



者数は一六五名で一日平均約四名となっており、主催側では喜んでおります。中でも三日間以上出席された方は三三名で、去年より多くなっております。その内女性の出席された方は半数以上で年々

若人よ老人対策を考えよう

山 館 誠 弘

産 経 課

増して来ております。

四日目最後の講義となった蓬田村長の村政の展望についての講義の後、受講生代表阿弥陀川の藤田吉五郎さんが修了証を受取りました。

最後に受講者全員で拍手し、営農大を盛大の内に無事閉講致しました。

戦後、女性が結婚相手を選ぶ条件として「カー付き、家付き、婆ぬき」という言葉のはやった時代があった。カー付き、家付きというのはまあいいとして、婆ぬきとは何と残酷な言葉だろうか。これこそ人間不在のもっとも極端な例といえよう。

新憲法のお陰で、結婚すれば子供夫婦は親のもとを離れて独立するの一般的な習わしになっている。いつまでも親のすねをかじらず独立するという精神が横溢するのあまり、自分たちだけの生活を楽しみ、別居した老人夫婦を捨てて省みない共かせぎの若夫婦は、子供が生まれ、その子どもが成人に達するころには後悔のほぞをかむ結果となる。子供を生むのは誰にでも出来るが、その子供を心身

増して来ております。四日目最後の講義となった蓬田村長の村政の展望についての講義の後、受講生代表阿弥陀川の藤田吉五郎さんが修了証を受取りました。最後に受講者全員で拍手し、営農大を盛大の内に無事閉講致しました。

ともに立派な成人に育てあげるのはたやすいことではない。結婚すれば当然のこととして子供が生まれるが、産婦は産後が肥立つとすぐ働かなければならぬので、赤子を人に預け人工乳をやって仕事に行き、子供が二、三才になれば保育所に預けるわけである。保育所があまねく行き渡っていない現状では預けるころはなくても生活のためには働かざるを得ない。勢い鍵っ子問題がもちあがるのも当然の成りゆきである。

人格形成の基礎は幼時にして固まるといわれている。両親が働きに出て、家に残された子供たちは街に出れば不健全な娯楽に目を奪われ、家にはテレビに映る遊俠徒輩の役柄を見て何の批判もなく「かっこいい」などとあこがれ

金ですべてを解決しようとする両親は、必要以上の小遣銭を与えて子供を放任し、生活に追われて少しでも多くかせぐために血眼になつて仕事にのみ熱中し、疲れ切つて家に帰って来ても、家というところが単なる宿泊所の役目を果たすだけの場所であつて見れば、家庭でやるべき情操教育をも怠り、親と子の対話もなく、結局子供は大切な幼時期を、雑草の伸びるが如く、よい悪いの区別もつかぬままに伸び放題になってしまう。或る刑務所に収容されている既

決受刑者のうち、三十歳以下の者四百八名を調べたところ、入所前家族が祖父母と同居していたいわゆるお年寄りのいる家庭の出身は約二パーセントの九名しかいないが、これを見ても、幼時期から青少年期にかけては子供の遊び相手、相談相手としていかに老人が必要であるかを痛感させられる。世の大人達も思い出すべきではないだろうか。幼いころ、祖父母から聞かされた昔話の数々、教訓、勸善懲惡など素朴な祖父母の教えは知らぬまに子供の脳裏にしみこみ、小学校にあがるころまでにはすでに一応の道徳観念を身につけていたことを。

老人のいる家庭から、青少年の犯罪者は出ないという結論を出すのは早計かも知れないが、それは老人が同居している家庭からは、わずかに二パーセントしか犯罪

者が出ていないという事実をどう説明すればよいのだろうか。老人のいる家庭から犯罪者が出ないという確たる結論は出せないにしても、その要素は十分にあり。また少年受刑者の七〇パーセントが長男であることを考えると、子供を育てた経験のない若い両親が、子供の育て方をあまり子供が非行に走りかけてもどうしてよいかわからず、助言してくれぬ人もいないので、結局は子供を犯罪者にしてしまうのであると思

う。老人は国の宝であると同時に子供も又、国、村及び家庭の宝であるとはいえず、長い年月の間、社会のために尽くしてきたお年寄りを粗末にしてはいけない。ここで世の中を少しでも明るく住みよい場所にするには、事情の許す限り老人と同居して、老人を大切にし敬老運動を盛んにせよと提案したい。老人夫婦と息子夫婦に孫という構成の家庭は、先進国にはいくらでも見られる光景である。なにも年寄りとは別居するだけが文化生活ではないと思う。政府も老人問題には意を用い、国の力で立派な老人ホームを沢山つくり、身寄りのない老人はそこに収容して余生を楽しく過ごさせるのが理想の政治であり、先輩に対する後輩の義務ではなからうか。

子供を交通事故から守るには 一般家庭の協力が必要

蟹田地区交通安全協会

会長 山 館 誠 弘

!!かわいいお子さんを、交通事故から守ろう!!と四月に新しく入学、入園する児童を対象に、県交通対策協議会では四月一日から三十日まで新入学(園)児童の交通事故防止運動を強力に展開することになった。

同運動に推進機関として県、県警本部、県教委、各市町村、県陸運事務所、建設省青森、森工事々務所、県交通安全協会、蟹田地区交通安全協会及び今年新しく組織された各町村交通安全、母の会、町村交通安全対策協議会が参加するが重点実施事項として

- ① 保護者と子どもに対する交通安全教育の徹底
 - ② こどもの通学(園)時における安全確保と指導誘導
 - ③ こどもの通学(園)路の点検、整備
 - ④ こどもに対する自動車の最徐行の励行
- 運動実施に当たっては、県交通

対策協議会が総合計画ならびに、各関係機関に行なう各種行事の連絡調整にあたり、市町村では、市町村交通安全対策協議会が中心となり、地域の実情にあった効果的、具体的な実施計画を策定する。

広報活動は地域住民の末端まで浸透させるよう積極的に推進する。また運転者、保護者に対する各種の講習会の開催、学校教育では、「交通安全の手引き」の活用「一声運動」の徹底などをはかる。そして家庭における指導、通学(園)指導、街頭指導、各団体

活動を通じての指導を推進して運動の効果を高めることにしている。

町村交通安全対策協議会及び交通安全協会ではこの児童交通安全防止運動の実施をあげるには関係機関だけでなく、お子さんをもつ一般家庭の方々の協力に待たねばならないことを強調している。

開田協業を顧みて

吉崎 慶 次 郎

昭和三十六、七年頃と記憶しておりますが、高度成長の他産業と農業とのひずみ格差があるというので、その不均衡を是正するための農政の転換から農業の近代化技術の革新、撰択的拡大等々の実践要領が示され、更に具体的実例が掲げられて適地適産の経営規模拡大し、増産と相俟って所得を向上し、以って企業の農業を確立すべきだ、これが農基法の精神である。

豊かな近代農業に生れ変わる、ひずみの谷間に喘ぐも、農民の双肩にかかっている。各々の農民よ自覚して農業構造バスに乗り後れざるようにと、凡ゆる行政機関を通じて農基法による指導が展開された。

田村綜合開発計画を立案したさい開田地区として含まれており、実践段階において灌漑用水源とする砂防ダム構築地域蓬田山二股沢を現地踏査の結果、地質不適が原因となつて、この計画が未遂に終わった由緒ある土地でもある。その後も灌漑用水源について幾度も検討されたが、打開策ないままとなり凡そ陽の目を見るに縁遠いものとあきらめておつた。

然るに近年技術の発達に伴つて地下水により新山が拓け注目されるようになった。こうした実例が要因となつて武井己之吉氏先輩よりまたまた持ち出され、昭和三十

吾々農民としても、他産業との格差や近代農業に脱皮したいことは潜在的に認めておつたが、経済水準が低いため、高領の花にすぎなかつた。しかし、かかる行政指導に感銘もし、深く胸を打たれるものがあつて股松一帯二一町歩を開田し、協業経営による近代農業にいとむことになつた。

この地区を含む股松一帳は、かつて武井己之吉氏が村長時代、蓬

課青木、吉崎両君の協力の下に現地調査を行い計画を練り、更に翌四十年県保官の派遣を乞い、幾多の曲折を経て実施計画を作成し、翌四十一年待望の認可が交付になつた。しかし四十年の秋ボーリングと貯水池構築から事前着工する運びとなつた。このあたり一帯はウツ着たる密林地帳であり、灌漑が密生しており、これが抜伐や刈払に、又これ等支障物の焼却や木材薪炭材などの搬出作業に多く労

力が投下された。一方フルトローザの作業も開始され、作業の進捗に伴つて水路のクツサタや農道や畦畔の手直し作業に多数の入夫が動員されることになつたが、一般受益者にあつては多忙や出稼を理由に夫役を断るものもあり、その要求を充わけにはゆかなかつた。

こうした事情が反映して必然的に役員に代り負担となり、役員に苦勞も言語に絶するものがあつた。また工事を遅らせる要因にもなつた。かくして二ヶ年有余の努力の結晶が実を結び昭和四十三年四月、多年の宿願であつた美田が見事誕生した。とき己に明治百年の記念の年に当り、瑞雲天にたなびき歴史に飾るにふさわしい記念事業ともなつて拙ない作詩であるが、蒼業辛苦二星霜股松一帯拓美田三十七人充希望明治維新已百年と綴りこの喜びをこの努力を後世に遺すことにした。

纏つてかつての話しにより、完成した土地二十一町歩を出資して組合員階層三反一〇反未満一五戸一〇反一五反未満六戸、一五反二〇反未満六戸、二〇反一三〇反未満一〇戸、合計三七戸、その面積五三三反(平均一四反)農業従事者半恒常的季節出稼者十六名を含む七一名(男二七名、女四四名)の事情の異つた個人経営構成の中に協業組合を設立し、初代組合長に武井己之吉氏が就任した。先づ三六二万余円の近代化資金

出稼者に傷害保険のお奨め

生活を維持するために村を離れ出稼に行くわけですが、今までの生活環境が、がらりと変わるばかりか、なれない仕事をするために、けがをしたり時には命を落すなどの傷害事故が発生しています。

事故にあいますと、それだけでなく一家の柱とも云うべき人が出稼に出ていきますから、残された家族の悲しみは計りしれないものがあります。

このような事が無いようにすることはもちろんのこと、「備えあればうれいなし」の言わざの通り出稼する人には保険加入をしていただきたいものです。

加入の方法
申込受付は農協で行います。

保険期間
一ヶ月以上一ヶ年以内の範囲の中で被保険者の任意によって定めていただきます。

支払いの内容

被保険者が出稼期間中急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を受けてその結果事故の日から一八〇日以内に死亡、又は後遺障害を生じた場合に保険金を支払い致します。具体的には出稼中の様々な事故はもちろ

ん就労中であるか否かと問わず交通事故を初め日常生活の中で生ずる色々な事故による死亡と後遺障害が対象になります。

死亡保険金

事故の日から一八〇日以内に死亡された時は全額

後遺障害保険金

事故の日から一八〇日以内に後遺障害を生じた時、たとえば

一、両眼失明の時全額

二、一腕又は一脚を失った時六〇%

三、そしゃく又は言語の機能に障害を残した時は十五%

四、拇指以外の一指の機能に著るしい障害を残した時は五%

尚、被保険者の自殺、地震、津波などによる死亡、後遺障害に対しては保険金をお支払い致しません。

保険料

二五万円に七ヶ月で四三三円

五〇万円に七ヶ月で八二六円

百万円に七ヶ月で一、六五二円

五百万円に七ヶ月で八、二五三円

その他、色々段階がありますので詳しくは農協又は役場へお問合せ下さい。

出稼組合

を借入し大型トラクター一、肥料散布機一、小型コンバイン一、二条刈バインダー一、粃貯蔵タンク附帯施設の十六石入乾燥機二を導入し、その他不足する機械器具を借上することにした。運営組織は組合長の下に総務、会計、夫役雇用、機械の各係を設け、役員が担当することになった。圃場主任(総務兼務)とオペレーター二名計三名が専従要員として夫役作業班の中心的労働力になるという機構の下にスタートすることになった。

先づ一、五〇坪の畑苗代より始まり近代農業の誇りと希望を持つてなごやかに行なわれほほえましい風景であった。やがて夫役に頼る作業が増えて夫役割当をするやうになった。多忙や出稼を理由に作業に対応する員数に充ず、作業に差支えることが度々できてこの補えは所詮役員の肩代り負担となり、役員としても個人経営をかかえていつまでも続くものでなく耐えられないこともあって、夫役に当って義務と責任の自覚を促し反発さえ買うこともあった。

その算定基礎について個人経営の借上料を勘案のうえ慎重に審議検討が加えられたが、殊にも自動車が増えたり作業により積載量も異り正確な算出の算出基礎が困難で、客観的判断で評価して算出した。又脱穀機運搬から乾燥加工、売渡し搬入までの特殊労働力賃金や時間外手当等についても労働力賃金や時間外手当等についても労働力に相応した賃金評価もむづかしいものがあり、客観的判断で算出したが、自動車借上料について不均衡であるという理由で中傷があった。この賃金問題は正直言って一率平等の賃金は作業努力を失ふこととなりがと云って公平を原則とする能率格差、賃金評価はその算定基礎がむづかしく期するところは客観的判断になり、或は賃金が高すぎると出資に対する配当が少くなり、協業に魅力を喪失して崩壊するおそれも考えられ、更に多少の不平不満を解消しないかぎり相互の意志疎通を欠き、協業の基調となる結びつきがほぐれる等々に想を致すときに、労働力や借上料の能力に相応した厳密な賃金評価に全力を傾注したもののその算定基礎がむづかしく極く少数であったが理解されぬまま不平不満を買ひ頭を悩ました。

最後に協業二ヶ年の学習で得た体験として組織全体が共同体が誰れのものであるかということに深く認識し、これを信条とする自負心がなければ発展も成長もないということを感じた。この信条と自負心があることによって自から経営者として自覚し理解し、伍にあつては伍に従うという意識が統一され、意欲的に且つ円かつに作業が展開され事業が伸展してゆくものと信ずる。表現は極く単純でまづいが協業は誰れのもの裏を返せば私のものという意識の統一がでなかつたマネジャーとしての責任を今更ながら痛感している

これが要因となつて、当該受益者と協業観念上の中傷となり、溝そが芽生えてきた。作業の段取りもあって協議のうえ事情を説明し次の日を休んでもらうこともあった。しかしこの措置は撰別の首切りと誤解されたこともあった。

開田は低生産性のためこの低生産性を補うため、労働力生産性を生ず観点から切実な手段だった。又が理解されずに中傷されたこともあ開田工事は申請の都合もあって二工区に区分して施行することになっていった。その経緯が理解されず工事先行の優越感から協業と全く無縁の対立的中傷もあり一輪咲く路傍の花にすぎない存在であったが、協業にも根を下し気を悪くしたこともあった。過剰投資を避けるため自動車や脱穀機などの諸機械器具を借上することになっていった。

ほとけさま

瀬辺地 久慈 きさ



幼い頃から聞かされた「あの人は年をとったら仏様になったね」私は今この言葉を思い浮べて自分もやさしい仏様になりたいと思うのです。

馬車にゆられて里帰りした若い頃の思い出は、今は昔の夢物語で孫達から笑われております。今日は舗装された道路、バス、自家用車がひっきりなく走っているし、朝

明治、大正、昭和と三代に生き延びて七十余年を振り返ってみれば随分永生きして本当に幸せだししみじみ感ずるのです。これまではただ、安閑として暮してきましたが世の中の移り変りは驚くほど進歩発展してどこまで良くなるのかと思えば、ますます行く先が棄きて元氣な生の声を聞けてああよしみです。デコボコ道をガタガタ

夕の汽車を利用する通学、通勤は若者達の明るい顔や立派な姿をみるにつけ都会の人に劣らぬ進歩と成長は本当に喜ばしいことです。それから又、電話架設のおかげで村内は勿論のこと遠く離れている娘や孫と親しく何度もお話もできて元氣な生の声を聞けてああよしみです。デコボコ道をガタガタ

よき社会人になるように

蓬田中卒就職者激励会

蓬田中学校卒業生の就職者激励会が三月五日午後一時から同校で行なわれました。

この日は坂本村長から、これまでも義務教育課程で習得した教養、知識を土台に立派な社会人となり健康に十分気を付けて下さいと激励されました。その後中村教育委員長、青森安き所紹介課長から

の有難きうれしさ」毎日感謝の心で伸び伸びと明るい暮らしが送られます。それに上水道の布設でおいしい水が充分使用できて我々は日常の生活にどれ程の恩恵を受けているかしみじみ有難く感じます。又暴風津波を防ぐ岩壁の完備で台風や豪雨も心配なく眠れるのであります。

そのみならず、まだまだ教えきれない恩恵で我々老人ばかりでなく、村民全体が幸福で永生きが出来るのです。

老人福祉法が国で定められて我々老人のため至れりのことばかりです。即ち年金の支給、無料検診、老人クラブ結成以来老人大学講座、全く夢のような楽しいことばかりでまだまだ長生きしたい、

も激励のことばがありました。このあと就職者全員に記念品を贈り、最後に就職者代表宮村達子さんが、よき社会人となるためどんなに苦しく、つらいことがあっても負けることなく歯をくいしばって一生懸命努力することを誓い、なごやかな内に幕を閉じました。

無理な欲望かも知らないががんばりましょう。人生五十年は昔のお話で今は七十何才とか、寿命が延びた生甲斐にも日頃の恩恵に報いる気持で何か役立つ老人になりたい、やさしいほとけさまの心でありたいと心がけております。生きても心は常にほとけさまのようでありたいと先年今泉房去会長さんの講義を受けて役立つ老人になりたい。

来年はどうなるか自分の体力が分らぬと悟り、永い冬期を利用して編始めた老人向きの半手袋をまぎい乍らも二十五人分を作ってお友達に配って喜ばれました。これが私の生甲斐の一つでもあり、希望が叶えられて嬉しく思っています。

「健康の有難さを」暑さ寒さも彼岸までとか、待ちに待って春の彼岸も漸く訪れてはっとした思いです。彼岸のおだんごよりもおしやか様が送ってくれる暖い風が欲しいのです。それにつけても思い出されるは亡き人の追憶です。わが村の生神様と尊敬された坂本種一さまと清水会長さんが余りにも「あっけなく」他界されて、残された会員一

産 経 課

